

令和2年2月12日

## 行政視察活動記録

議会運営委員会

委員長 高嶋 正朋

年月日	令和2年2月6日（木）から7日（金）まで
場 所 及び目的	三重県 四日市市 ・ 通年議会について 三重県 伊賀市 ・ 議会の広報広聴について

年月日	令和2年2月6日（木）
相手方 及び目的	四日市市議会 議会事務局 ・ 通年議会について
内容・ 結果等	<p>四日市市議会では平成23年度から導入した通年議会について研修を行った。通年議会とは、定例会を年1回とし会期を長期化する議会運営のことであり、会期中（5月から翌年4月30日まで）は、年頭の開会を伴う会議以外は、議会の判断で必要に応じて会議を開けることができ、知事、市町村長による議会招集は年頭召集（5月）の1回のみとなり、あとの定例会月議会は（6月、9月、12月、2月）は議長権限で会議することになる。</p> <p>四日市市議会では平成23年3月に制定した議会基本条例の中で、基本方針の三本柱として、「市民との情報共有」、「市民参加の推進」、「議員間討議の活性化」を掲げ、さらに、新たな取り組みとして通年議会を導入したということである。</p> <p>議会事務局や副議長から懇切丁寧な説明を受け、特に平成12年、市政活性化推進等議員懇談会（のちの議員政策研究会）の設置から始まった議会の活性化並びに議員提案による政策提言条例制定など議会基本条例制定までに多くの議会改革を行ってきた今の形となり、今なお、通年議会など新しくいいものを取り入れながら議会改革に取り組んでおり、その姿勢は見習うべきものである。</p> <p>各委員からは、通年議会のメリット・デメリット、議会報告会、シティミーティング、反問権、文書質問並びに政策提言など多岐にわたる質問があり、今後のさぬき市の議会運営に何が必要なのか、どういった議会改革が必要なのかを考える一助になった。今後とも四日市市議会の取り組みを参考に、議会改革に取り組んでいきたい。</p>



内容・  
結果等



備 考

(参加者) 議会運営委員会委員 7名、議長、副議長  
議会事務局 2名 計 11名

年月日	令和2年2月7日（金）
相手方及び目的	三重県 伊賀市 議会事務局 ・議会の広報広聴について
内容・結果等	<p>伊賀市議会では広報広聴の取り組みについて研修を行った。</p> <p>伊賀市議会は平成19年2月に市では全国で最初に議会基本条例を制定し、市内の住民自治会を対象に議会報告会を実施している。</p> <p>平成30年度の議会運営委員会において、議会報告会の見直しの検討を行い、幅広い世代の方と未来に向けた意見交換を行うため、「伊賀市の未来について」と題してタウンミーティングを試行開催し、検討の結果、本年度から、このタウンミーティングを本格実施していくこととなった。</p> <p>試行開催の手法としては43名の参加者と22名の議員が「住みよいまちづくり」に繋がる具体的なテーマを各グループ（9グループ）で決め、ワークショップ形式で意見交換を行い、話し合った内容についてグループごとに発表し、出された意見等を議会で集約する。</p> <p>テーマについては「教育について」、「若者の定住について」、「安心安全なまちづくり」、「交流のできるまちづくり」、「教育・子育て・産業」「人口減少と予算の使い方」、「公共交通対策」などであり、市民から出たこの意見等を議会活動の参考とするほか、タウンミーティング実施時に行ったアンケート調査の結果を基に、次回のタウンミーティング実施の参考としていた。また、タウンミーティング以外にも、各種団体に対しての出前講座を開催。これは常任委員会が主体となり各担当委員会が申し込みのあった団体に出前講座を行うものであるとの説明があった。</p> <p>伊賀市議会が議会報告会からタウンミーティングに移行した理由は、やはり議会報告会が苦情の聞き取りや、地元の要望ばかりであり、参加者も決まった人や年齢層の高い人に限られてきたので、今後、市民から、これからの伊賀市について多くの意見やニーズを引き出すために幅広い年代、職種、性別の方に来てもらう手段としてタウンミーティングによる意見交換を行い市政に活かすためである。</p> <p>各委員から議員や事務局のかかわり方、ワークショップの進め方、議会報告会は今後行わないのか（住民自治協議会からは開催してほしいとの要望がある。）また、別に行っている出前講座（委員会活動）についてなど多岐にわたり質問があり、市民に対しての広報広聴の重要性を改めて認識するとともに、この伊賀市の取り組みを今後のさぬき市議会の広報広聴活動の参考にしたい。</p>



内容・  
結果等



備 考

(参加者) 議会運営委員会委員 7名、議長、副議長  
議会事務局 2名 計 11名